

明德公園自然観察会

○日にち 2011.6.4(土) ○天気 晴れ

○参加者 一般参加者:大人3名(女性2名) ※内初参加0名

指導員:3名 辻 愛子、森 功一、大羽 博之

- ★植物 くわの実(味わう)、ヤマコウバシ(葉の裏側銀色)、イヌツゲ(小さな白い花咲く)、ハリギリ(トゲあり)
- ★昆虫 ミズアブの幼虫(細長い針のような尻尾部分が特徴的)、ハバチの幼虫(足がいっぱいある)、ヒトリガの仲間の幼虫(毛虫、木に擬態)、テントウムシの幼虫、さなぎ、成虫(テントウムシは肉食)、ナナフシモドキ(前足がクローラのように前に)、カブトムシの幼虫(切り株を崩したらそこにいた)、ヨコズナサシガメ(獲物を捕らえていた)、寄生バエがフサヤガの幼虫に産卵する決定的瞬間見る
- ★その他 アカガエルのオタマジャクシ(後ろ足が生えていた)
キバラモクメキリガの幼虫(2ヶ月前数mmだったのが白谷さん育てて大きくなった)
エサキモンキツノカメムシの標本(ハートマーク)、フェモラータオオモモブトハムシの標本(外来種、松阪市の川岸に繁殖している、ピンク色の光沢)どちらも森さん持参標本

<参加者の皆さんの感想>

- ・ 大人でも見つける反応カスゴイと感じた。
- ・ 寄生ハエとガの幼虫のバトルはNHKの昆虫スペシャルを見ているようだった。
- ・ 先月もそうだったが見所がいっぱい
- ・ 森に入る前に、危ないハチやウルシを説明しているが、寄生バエと幼虫のバトルがあったウルシの葉っぱを恐怖もなく触っている姿に興味関心力にはかなわないと感じた

今月もそれぞれの得意分野をシェアでき、普段では出逢えない生き物たちの姿に遭遇できた。皆さんの多様性は宝。今後も多方面の個性を森の中でシェアし、共に語らえる場とし、多様ないのちを身近に感じる世界を広げたい。次回のテーマは「パステルで描こう」(持ち物:スケッチブック) 画家の一步さん参加予定。(記録:辻)

